

# 挑む!

甲南大学法学部教授

笹倉 香奈さん(38)

## 冤罪生まない刑事司法を



1978年生まれ。奈良市出身、兵庫県在住。専門は刑事訴訟法、冤罪、米国刑事法。4月から「えん罪救済センター」の副代表を務める。

冤罪えんざいかもしれない事件を弁護士や学者らが無償で調べ直し、無実の罪を晴らす民間の活動が1990年代から米国で広まった。イノセンス・プロジェクト（IP）という。その日本版「えん罪救済センター」が4月に始動し

た。かねて「IP実現が私のライフワーク」と宣言し、奔走した成果だ。幼いころ、いとこの家で読んだ漫画「はだしのゲン」が強く胸に残った。力のない人が国家に虐げられる怖さを想像した。小学5年のときにリンカー

ンの伝記に触れて、弱い立場の人を守る弁護士という職業を知る。弁護士を目指して東京大学法学部へ進むが、より広い視野で人権について考えられる刑事訴訟法の学者の道を選んだ。

2011年、米国の刑事法を学ぼうとワシントン大学に留学し、出会ったのがIPだ。学内で本物の証拠の山と格闘する中で、IPで何人もの死刑囚が救われたと知った。死刑や拘禁刑が確定した人にDNA型鑑定機会を保障する連邦法ができたり、各州で死刑廃止が進んだり。その影響力に驚き、日本でも必要だと痛感。旧知の弁護士や法学者らとセンターを立ち上げた。

日本は、有罪が確定するとDNA型の再鑑定すらなかなか認められず、壁は厚い。「無実の訴えに耳を傾け、冤罪を生まない刑事司法をめざす」

文・写真 阿部峻介

記者から

明るい人柄と頭の回転力で周囲を巻き込む「攻めの学者」。冤罪事件の泰斗になる日は近い。